

第36回国民文化祭
紀の国わかやま文化祭2021
地域文化発信事業～和歌山の文化の今昔～

10 / 30

Sat. 18:00～**入場無料**
先着150名



坂田明(Sax)

ミュージシャン／東京薬科大学生命科学部客員教授、
広島大学大学院生物圏科学研究科客員教授
1945年、広島県呉市出身、広島大学水産学科卒業。
1972年～1979年山下洋輔トリオに参加、
82年より「Wha ha ha」「SAKATA TRIO」結成して欧州
ツアーを皮切りに独立。以後様々なグループの形成解体
を繰り返しながら世界中をあちこちぐるぐるしながらあれ
これして今日に至る。現在は「ARASHI」(Johan
Berthling、Paal Nilssen-love)「梵人譚」(Jim
O'Rourke, Giovanni de Domenico, 山本達久)「
COCODA」(大森菜々、かわいしのぶ、坂田学)などで活
動を展開中 セッションは分野を問わず多数行う。
近著は「私説ミジンコ大全」CD「海」付(晶文社)。
<http://www.akira-sakata.com>
akirasakata1.bandcamp.com

同日開催 講演会！

14:00～「日本の国の形(仮称)」
講師：伊勢崎 賢治 先生

16:30～ 旧和歌山県会議事堂見学
解説者：中西 重裕 先生

JAZZ IN 旧県議会議事堂(岩出市)



伊勢崎 賢治(Trumpet)

1957年7月6日生まれ。
平和学研究者。東京外国語大学総合国際学研究院
(国際社会部門・国際研究系)教授、
自衛隊を活かす:21世紀の憲法と防衛を考える会呼び
かけ人。NGO・国際連合職員として世界各地の紛争地
での紛争処理、武装解除などに当たった実務家として
の経験を持ち、紛争屋を自称する。現在は大学教授と
して教務する傍ら、評論家としてメディアにも出演して
おり、紛争解決請負人とも呼ばれる。
ジャズと出会ったのが内戦中のシエラレオネ。部下の
アイルランド兵が聴いていたマイルスにシビレル。トラ
ンペットを手にしたのはアフガニスタン。今度こそ死ぬ
かも、と持参したのが始まり。その後生き延び、プロデ
ビュー。



田中利佳(Piano)

1984年3月5日生まれ。兵庫県出身。
4歳よりピアノを始める。
12歳でクラシックより作曲へ転向。
大学の軽音サークルに楽曲提供を行うなど活動を始
める。22歳で当時在籍していた山形大学工学部に
JAZZ研究会が創設されたのを機にJAZZに転向。
2008年上京。
2010年より納谷嘉彦氏に師事。
2019年1月、1st album『Lady Talk』リリース。
2020年より同アルバム配信リリース

山青し 海青し 文化は輝く
紀の国わかやま文化祭2021
第36回国民文化祭・わかやま2021 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会
令和3年10月30日(土)～11月21日(日)

主催：文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会
第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会
「熊野古道」を世界遺産に登録するプロジェクト準備会
〒640-8319和歌山市手平2-1-2和歌山ビッグ愛 9F
(公社)和歌山県青少年育成協会内

問合せ先：e-mail: kumako97@jtw.zaq.ne.jp
電話：090-1585-0423小野田真弓 <http://www.kumako1997.com>